

1990.1
創刊号

博物館だより

(仮称)大津市
歴史博物館



＜(仮称)大津市歴史博物館(左)および大津市立市民文化会館(右)新築工事＞

進む博物館建設

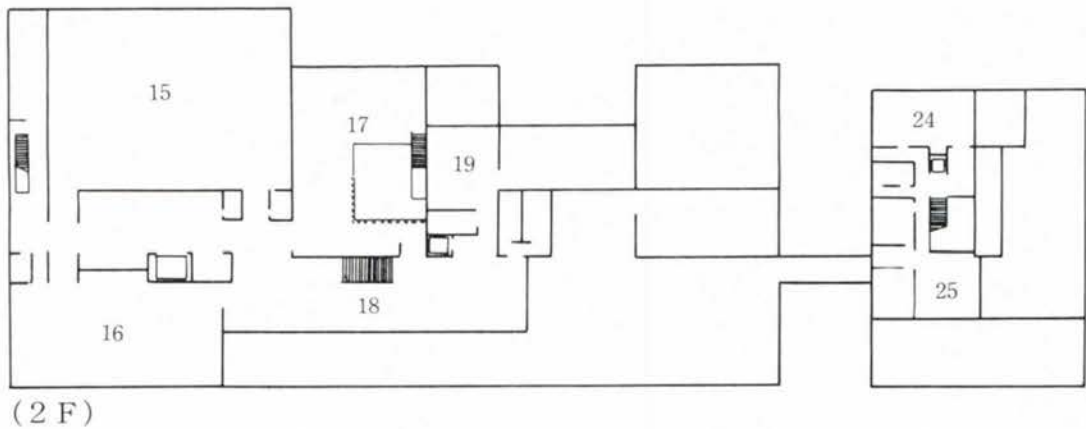
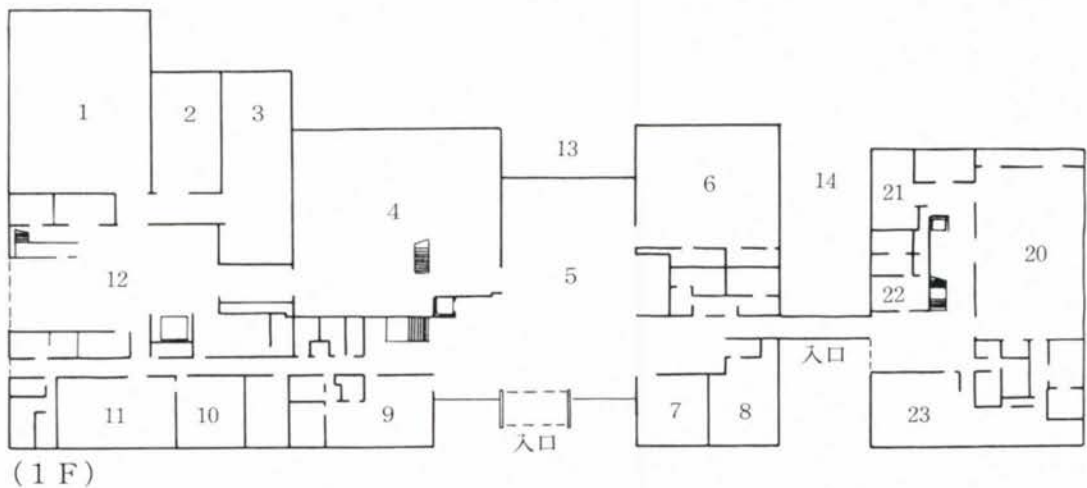
(仮称)大津市歴史博物館および大津市立市民文化会館の新築工事は順調に進んでいます。同工事は昭和六十二年十月三十一日に起工式を行い、いよいよ平成二年三月末に完工し、十月には開館の予定です。

本市は琵琶湖と美しい山々に囲まれた風光の地に位置しています。その地形を反映して早くから豊かな歴史と文化を育んできました。建設中の歴史博物館では、先人たちの足跡をしるす数多くの文化財や歴史資料を収集、保管、調査研究をし、広く市民に公開することになっています。そして大津の歴史と文化の普及を図り、多くの人々に愛され、親しまれる「開かれた博物館」を目ざしています。あわせて市民の多様な要望に答え、文化活動の拠点ともなるよう市民文化会館も建築します。

両館の建設地は、本市の文化活動の発展に長く寄与してきた市民文化会館の跡地です。その地は明治時代の歩兵第九連隊司令部、その後アメリカ駐留軍の将校集会所のあったところです。そして美しい長等山の樹林を背景にし、眼下琵琶湖が眺望できるといわずぐれた景勝地にあたります。さらにその周辺に大寺の園城寺(三井寺)、円満院、フェノロサゆかりの法明院、国宝の新羅善神堂、弘文天皇陵、東海自然歩道などの歴史的な名所が点在しています。

今回の博物館の機能の一つに資料情報収集があります。十二年間にわたって進められた新修大津市史編さん事業の成果をもとに、さらに積極的な資料収集を展開し「歴史のデータバンク」の役割を果たすべく準備を進めていきます。

(仮称)大津市歴史博物館及び大津市立市民文化会館平面図



大津市歴史博物館				大津市立市民文化会館				
1	収蔵庫A	(308㎡)	12	荷解室	(242㎡)	20	多目的ホール	(225㎡)
2	収蔵庫B	(104㎡)	13	池庭		21	会議室(1F)	(35㎡)
3	収蔵庫C	(160㎡)	14	中庭		22	事務室	(26㎡)
4	常設展示室(1F)	(454㎡)	15	企画展示室A	(533㎡)	23	レストラン	(93㎡)
5	エントランスホール	(588㎡)	16	企画展示室B	(254㎡)	24	会議室(2F)	(73㎡)
6	講堂	(210㎡)	17	常設展示室(2F)	(233㎡)	25	迎賓室(和室を含む)	(76㎡)
7	講座室	(65㎡)	18	展望ホール	(317㎡)			
8	資料閲覧室	(75㎡)	19	体験学習室	(95㎡)			
9	事務室	(86㎡)						
10	情報処理映像制御室	(60㎡)						
11	調査研究室	(101㎡)						

新築工事の概要

規模 建築面積 四、二三四・三九㎡
 延床面積 七、〇八二・七五㎡
 構造 鉄筋コンクリート造
 工期 昭和六十三年十月～平成二年三月
 総工費 二、三五四、五〇〇、〇〇〇円
 設計業者 株式会社建築事務所 エヌ ビイ オー
 施工業者 株式会社建設工事共同企業体
 機械設備工事……三機工業株式会社・桑村産
 電気設備工事……六興電気株式会社・岡本電
 気工事株式会社特定建設工事共同企業体
 昇降機設備工事……株式会社東芝関西支社

(仮称) 大津市歴史博物館の建築概要

規模 地上二階 地下一階 鉄筋コンクリート造
 構造 建築面積……三、三七七・七九㎡
 延床面積……五、四一三・一九㎡
 地階……四七二・五〇㎡
 一階……〇九七・五四㎡
 二階……一、八四三・一五㎡

仕上 屋根 アルミフッソ焼付 瓦葺
 外壁 厚塗ビニール樹脂系つや消塗料
 下部 セツ器スタイル
 アルミ ステンカラー焼付パネル

大津市立市民文化会館の建築概要

規模 地上三階 鉄筋コンクリート造
 構造 建築面積……八五六・六〇㎡
 延床面積……一、六六九・五六㎡
 一階……六二一・五〇㎡

仕上 屋根 ガルバリウム鋼板フッソ焼付 瓦葺
 外壁 厚塗ビニール樹脂系つや消塗料
 下部 セツ器スタイル
 アルミ ステンカラー焼付パネル
 腰 穴太衆積みの石垣

常設展示の概要 (1)

大津市歴史博物館の常設展示では、地域でなく守り伝えられてきた歴史資料を、分かりやすい解説文をつけて展示します。また、かつての各地域の特徴的な町の様子を立体模型や人形で復元したり、歴史や文化を大型の映像で見てもらったり、ボタンを押せば、展示資料の解説が画面で楽しみながら勉強できるものなど、もりだくさんの手法で、皆さんがたをお迎えしようと考えています。

さて、常設展示の構成は、大きく二つの分野に分かれます。一、テーマ展示、二、歴史年表展示がそれです。テーマ展示では、南北に細ながい大津市の地理的な特徴を考慮して、A湖族のまち堅田、B比叡とその山麓、C大津百町、D膳所六万石、E三井・石山と近江八景、F大津京と近江国府、の六つのテーマで構成しています。このテーマ展示は、大津市を地域的に分けて、それぞれの地域の歴史の特徴を分かりやすく紹介するものです。

また、歴史年表展示は、大昔の原始時代から、つい最近まで、大津市で起こった出来事を、実物資料とイラスト、写真パネルなどをふんだんに盛り込んで、楽しく紹介しようと考えています。テーマ展示をヨコ系とすれば、歴史年表展示はタテ系



蒸気船涉湖丸の錦絵 (展示資料から)
 煙をたなびかせて、琵琶湖をさっそうと走る蒸気船は近代の幕開けのシンボルであった。

であり、その二つの系によって、ながい大津市の歴史の全体像を浮き彫りにしようとしています。

そして、これらの展示資料を補足説明するために、展示室一階に、「大津市全景模型」が置かれます。ここでは、およそ三五〇年前の大津市の地形や湖岸線の様子、東海道や西近江路などの街道ルート、お寺や神社の姿や、また町人や農民が住んだ家の有様などを復元する予定です。この模型をご覧になれば、皆さんは、自分たちの祖先が、緑ゆたかな山々と、美しい琵琶湖にいだかれて、生活していたことを、まず、実感としてお持ちいただけるようにと、楽しい趣向を考案中です。

この模型の背後には、大きなスクリーンが取りつけられ、「大津市全景模型」の各地域に関する歴史や文化の様子が、きれいな映像によって流れるようになります。

では、次回の「博物館だより」から、この常設展示の内容を、詳しく紹介していくことにします。

建設の経過

- 昭和57年9月30日 「(仮称)大津市立総合資料館」基本構想策定協議会を設置
- 昭和59年2月17日 基本構想報告(テーマ ふるさと都市大津のあゆみと形成、名称 大津市歴史博物館、機能 調査・研究・収集・保管・展示・情報提供・教育普及)
- 4月1日 教育委員会事務局に博物館建設準備室を設置
- 8月24日 「(仮称)大津市歴史博物館」建設準備委員会を設置(会長川越進大津市文化連盟会長ほか19名)
- 昭和60年9月7日 「(仮称)大津市歴史博物館」収藏品収集審査会を設置(審査員5名)
- 昭和62年2月27日 「(仮称)大津市歴史博物館」常設展示構想審査委員会を設置(委員7名)
- 3月4日 常設展示構想募集(指名コンペ全国9社) 説明会
- 3月30日 常設展示構想応募作品審査、最優秀作品(有)ササキ企画(横浜市)
- 8月19日 「(仮称)大津市歴史博物館」建築設計競技審査委員会を設置(本城博一委員長ほか10名)
- 10月5日 建築設計競技(指名コンペ全国9社) 説明会
- 昭和63年1月12日 建築設計競技参加作品審査、最優秀作品(株)建築事務所エヌビイオー(大津市)
- 4月1日 教育委員会事務局文化課博物館建設準備室を廃止し、同事務局内に博物館建設室(新修大津市史編さん事業の一部を引き継ぐ)を設置。顧問に

- 6月30日 林屋辰三郎前京都国立博物館長を委嘱。(仮称)大津市歴史博物館」建設準備委員会を同建設委員会に改称
- 7月1日 建設地にあたる既存の大津市立市民文化会館を閉館
- 7月1日 建設事前準備作業はじめる(既存建築物解体、立木移植、工作物移転、埋蔵文化財発掘調査など)
- 8月31日 「(仮称)大津市歴史博物館」及び「大津市立市民文化会館」新築工事設計完了
- 10月11日 工事請負契約臨時市議会議決(建築本体・機械設備・電気設備)
- 10月15日 工事請負契約(昇降機設備)起工式
- 10月31日 「(仮称)大津市歴史博物館」資料調査研究委員会(委員長武田恒夫大阪大学名誉教授ほか4名)を設置
- 平成元年3月1日 常設展示工事契約市議会議決
- 6月10日 新たに室員増員される
- 4月1日 新法寺資料調査(7日も)
- 6日 収藏品収集審査会開催
- 19日 顧問会議開催(京大会館)
- 21日 映像用大津の祭撮影はじまる(10月まで)
- 5月2日 善通寺資料調査
- 12日 歩兵第九連隊記念碑保存会から書籍寄贈
- 13日 建設委員会企画部会開催
- 15日 歴博進入路関係者会議開催、昌峰院・法光寺資料調査
- 17日 上田進家資料調査
- 29日 浄土寺資料調査、穴太衆積み石垣工事開始
- 30日

博物館建設日記抄

平成元年
4月、11月

- 6月9日 叡山文庫資料調査
 - 16日 東京国立文化財研究所石川睦郎主任研究官視察
 - 7月12日 安興寺資料調査
 - 13日 顧問会議開く(京大会館)
 - 17日 収藏品収集審査会開催
 - 20日 建設委員会全体会および同企画部会を開催
 - 24日 吉川信康家(神戸市)資料調査
 - 8月5日 真光寺資料調査
 - 6日 歴史文庫第6冊『大津の名勝』編集に入る
 - 9月10日 上京町共有文書調査
 - 26日 建設委員会企画部会を開催(建設現場)
 - 28日 小中学校社会科研究会との会議
 - 10月1日 『大津の名勝』を三千部発刊
 - 7日 歴史教室「膳所焼と記念寺」開催
 - 12日 顧問会議開催(建設現場)
 - 14日 歴史教室「穴太の里と穴太廃寺」開催
 - 22日 歴史教室「下阪本の史跡を訪ねて」開催
 - 23日 シンボルマーク、キャラクター審査会開催
 - 11月4日 歴史教室「田上の歴史をさぐる」開催
 - 6日 収藏品収集審査会開催
 - 25日 歴史教室「園城寺と長等周辺」開催
 - 28日 鈴木規夫文化庁文化財管理指導官視察
- 明けましておめでとう、ございます。念願の博物館も内容をあらわし三月の完工をまっぴかりです。はじめての「博物館だより」ですが今後発行を続けますのでよろしく願います。
- 博物館だより 創刊号
発行日 平成二年一月一日
編集 博物館建設室
発行所 大津市御殿町三一
大津市教育委員会博物館建設室
電話(〇七七五)二三一一二三四代